

坪矢輔久

Sukehisa Tsuboya

森 静江

Shizue Mori

二人展

2026年

7/18^土 ▶ 8/16^日

会場 朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 7/21(火)・7/27(月)・8/3(月)・8/10(月)

観覧料 大人/220円 小中高生/無料

※先に朝倉文夫記念館に入館した方は、文化ホールの入場料は無料

先に文化ホールに入場した方は、朝倉文夫記念館の入館料は 350 円)

・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者は無料

主催 豊後大野市(朝倉文夫記念館)、大分合同新聞社

後援 大分県美術協会、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM

(問合せ) 朝倉文夫記念館 〒879-6224 豊後大野市朝地町池田1587-11 TEL.0974-72-1300 FAX.0974-72-1302



朝倉文夫記念館 HP

坪矢輔久・森静江 二人展

坪矢 輔久(つばや すけひさ)

坪矢輔久は、1951(昭和26)年、佐伯市米水津町生まれ。津久見高校卒業後、日本写真専門学校に進み、大阪の商業フォトスタジオに就職。百貨店等時代の最先端の仕事に従事し、独立。のち、豊後大野市三重町に移り、写真館を運営する等しました。

坪矢が絵画を始めたのは、昭和59年頃。同61年からは県美展に出品し、平成3年、県美協会となりました。効率のみを求める社会に警鐘を鳴らすかのような作品、朽ちていくものを見つめる作品等により独自の世界を追求。近年は1970年代を振り返る、新たな世界を展開しています。

現 県美協・豊後大野支部長



景 2000年



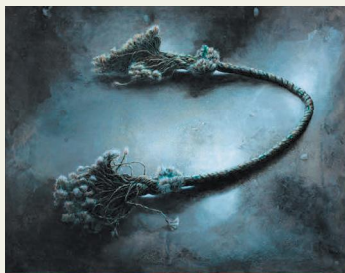
けしき 2015年



けしき 2019年



けしき 2025年



けしき(時間の残骸) 2017年

森 静江(もり しずえ)

森静江は、1950(昭和25)年、三重町生まれ。幼少の頃より絵が好きで、地元の中学・高校では美術部で活躍。別府短大卒業後、結婚して緒方町に居住、40歳頃からは保育園に20年勤務、そして、義母の介護のため退職、と徐々に生活が変化する中でも、絵筆を握り続け、個展も開催。70歳以降は、より制作に専念して、県美協会員となりました。

また、森はこれまで主として、自らの心情を動的に表現するシリーズや、相対する自然を沸き立つような筆致で描き出す風景画に取り組んできましたが、かねてより、森には絵を描くことで生きる意味を見つけないかという思いが強く、そうした思いが50年を越す画業を後押しするエネルギーともなりました。



あっち向いてホイ。 2016年



魅惑の花マーガレット 2008年



アジサイに魅せられて 2009年



緒方町の景勝地(原尻の滝) 2015年



瀬戸内海に沈む夕日 2010年

撮影：竹内さくら

アクセス

車で

大分市方面より

大分自動車道「大分米良IC」～
中九州横断道路「大野IC」～
豊後大野市大野町**養老信号右折**約10分
(大分市より約60分)

竹田市方面より

県道57号線～
豊後大野市大野町**養老信号左折**約10分
(竹田市より約30分)

電車で

JR 豊肥本線

「朝地駅」下車、タクシーで約10分

朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11
tel.0974-72-1300 fax.0974-72-1302

URL: <https://www.bungo-ohno.jp/>
(「施設情報」より「朝倉文夫記念館」をご覧ください)



※中九州道は、「大野I.C.」をご利用ください。